

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

FUTURE DESIGN

ELEVATOR NEWS

安全で快適なエレベーターの未来をデザインする

2012

vol. **31**

特集 ● 交通と都市の未来形
東京スカイツリー® 誌上体験記
東京の
天空
を旅する

東芝エレベータ株式会社
TOSHIBA ELEVATOR AND BUILDING SYSTEMS CORPORATION

eco スタイル

FUTURE DESIGN

ELEVATOR NEWS

安全で快適なエレベーターの未来をデザインする
vol.31 2012

CONTENTS

03-09 特集●交通と都市の未来形

東京の天空を旅する

東京スカイツリー誌上体験記

10-13 連載●新リニューアル探検隊が行く!

ホテル編

Step3

納品とフォロー

14-15 連載●安全・安心を科学する

トレッキングの安全・安心

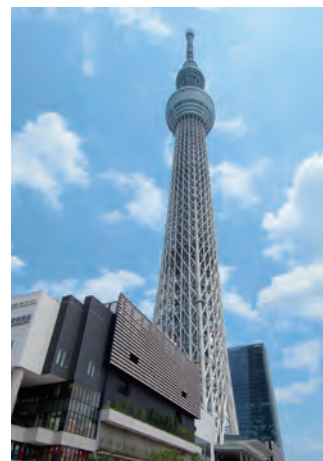
初心者のための山歩きガイド

16 連載●おもちゃの乗り物博物史

現実よりひと足さきに

月世界を闊歩した月面探検車

【表紙解説】

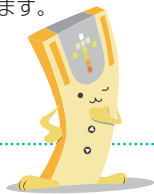


東京スカイツリーは、下町のにぎわいを感じさせる商業施設「東京ソラマチ[®]」や、ダイナミックに泳ぐペンギンを上から下から眺められる「すみだ水族館」、そしてプラネタリウムや企業のショールーム、テレビ局のショップ、そして31階建てのオフィスビル「東京スカイツリーイーストタワー[®]」など多彩な施設に囲まれている。

お知らせ

停電時でも電池で動く エレベーター追加機能を発売

東芝エレベータは、マシナールームレスエレベーター「スーパーセルGR」の追加機能として、計画停電などによりエレベーターへの電力供給が停止した場合でも稼働できる「停電時継続運転機能(トスムーブ)」を発売しました。従来の「停電時自動着床装置」では、停電時にはエレベーターは最寄階まで移動した後停止しましたが、「停電時継続運転機能」により、二次電池から電力を供給することで、停電時でも最大2時間程度の低速動作が可能になります。



二次電池 (イメージ)

(アンケートにご協力ください)

今号の東芝エレベータ広報誌「FUTURE DESIGN」Vol.31 に対するご感想をお聞かせください。抽選で10名さまに「特選品」をお送りします。今号の特選品は、東京スカイツリーオフィシャルショップ限定販売の「小銭入れ」です。東京スカイツリーの地元、東京都墨田区の手作り革製品の店「紗蔵」のオリジナル商品で、カードや小銭が入るようになっています。

●応募方法

同封のはがきまたはFAX用紙、E-mailでご意見をお送りください。

●締め切り

2012年10月31日到着分まで有効。



©TOKYO-SKYTREE

東芝エレベータ株式会社

FUTURE DESIGN

ELEVATOR NEWS

vol.31 2012

2012年7月31日発行 発行 東芝エレベータ株式会社 広報室
〒141-0001 東京都品川区北品川6-5-27 電話 (03) 5423-3332
URL <http://www.toshiba-elevator.co.jp>
E-mail elevator@po.toshiba.co.jp

制作 有限会社イ・クラフト デザイン 手塚みゆき 印刷会社 メディアグラフィックス



地球環境に配慮した植物油インキを使用しています。

特集 ● 交通と都市の未来形

東京の天空を旅する

東京スカイツリー® 誌上体験記

地上634m。

自立式電波塔として世界一の高さを誇る東京スカイツリーが、この5月22日に開業した。

建築家の今村創平氏と女優の赤間麻里子氏、そしてライターの平塚桂氏とともに、開業間もない東京スカイツリーに昇ってみた。

2つの展望台からの眺めや建築としての魅力、周辺の街づくりからエレベーターの乗り心地まで、誌上でレポートしてみよう。

今村 創平 ● 建築家

1966年生まれ。早稲田大学、AAスクール、長谷川逸子・建築計画工房を経てアトリエ・イマム主宰。建築設計のほか論考の執筆も多数。

赤間 麻里子 ● 女優

1970年生まれ。無名塾を経て、舞台を中心に活躍。2012年4月公開の映画『わが母の記』に主人公の妻・美津役で出演。3児の母。

平塚 桂 ● ライター

1974年生まれ。ぼむ企画共同主宰。専門は建築。新書『東京スカイツリーの科学』など、スカイツリーに関する著作も執筆。



私たちが昇ってきました！



東京の空を旅する
東京スカイツリー® 誌上体験記

東京スカイツリー® に集結

見上げて感じる 圧倒的な迫力

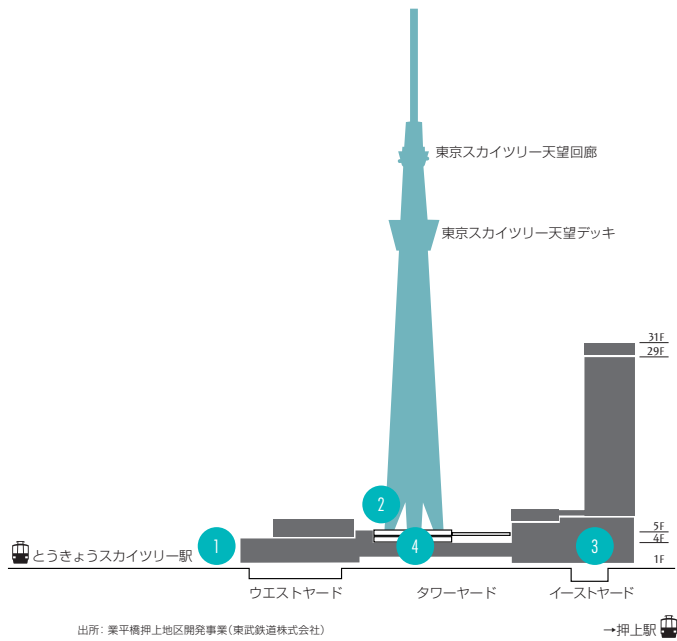
東京スカイツリー® に昇る前に周辺施設を散策。
商業施設「東京ソラマチ®」やタワー入り口に続く4階の広場「スカイアリーナ」など、
タワーを囲むさまざまな施設が、期待感を高めてくれる。



1
ハナミ坂
階段下から見上げるタワーは「迫力」
のひと言。



みん
な
は
あ
ま
り
は
な
み
さ
か
を
見
て
は
な
さ
い



出所：東平橋押上地区開発事業（東武鉄道株式会社）

タワーの足元に広がる「街」

タワーに最も近いとうきょうスカイツリー駅を出てすぐに、タワーとそれを囲むお店や広場が迎える。とうきょうスカイツリー駅と押上（スカイツリー前）駅を結ぶ東西約400m、広さ約3・69haの「東京スカイツリータウン」では、タワーを中心に周辺施設や水辺空間を複合した街づくりがなされている。大きな階段を登り、タワー入り口のある4階に上がると、大きな広場「スカイアリーナ」から迫力あふれる東京スカイツリーの全身像が登場！

「こんなに迫力があるとは驚きました。日本のここで見られない風景ですね」と女優の赤間麻里子さんが話す。「9歳の息子がナノブロックで東京スカイツリーのミニチュアをつくるほどの塔好きなんです。小さい子どもなら、ここに連れて来るだけでかなり驚くはず」

高くなるにつれ、平面が三角から円に変化する独特のフォルムの塔を、じっくり観察

するならここだ。

予定の入場時刻まで時間があるので、都内最大級の店舗数312店を誇る商業施設「東京ソラマチ」や東京スカイツリーのオフィシャルショップを散策する。「センスのいいお土産が多く、後でじっくり見たいですね」と赤間さん。「商業施設と駅と一緒に開発するのは日本の沿線開発の定石です。東京スカイツリータウンは東武鉄道がつくりました。しかし不思議と、みんなのスカイツリー」とでもいうような、公共的な存在に感じられます」と建築家の今村創平さんは東京スカイツリーとその周辺を分析する。昇らずともタワーを楽しめる、開放的な足元空間だ。



4 オフィシャルショップ
浅草名物人形焼やフィギュアなど、ここでしか買えないスカイツリーグッズがたくさん。



3 ソラマチ商店街
どことなく和の情緒を感じさせる雑貨やカフェなどが並ぶ。



スカイアリーナ
訪れた人が揃ってカメラや携帯電話を構えて上を向く様子は、他ではなかなか見えない。

外から見て也十分楽しいですね。間近で見るとやはり違います。小さい子どもにとってはさらに大きく見えるはず。(赤間麻里子さん)

春夏秋冬、 4種類のエレベーター

東京スカイツリー天望デッキに向かう東芝エレベーター製のエレベーターは40人乗り。速度は毎分600mで、高さ350mまでを約50秒で結ぶ。4台のエレベーターには、それぞれ春夏秋冬を表現したアートパネルが設置されている。我々が乗り込んだのは都鳥の空(冬)のかご。墨田区のデザイナー高橋正実氏がデザインしたもので、地域に受け継がれた職人技が駆使されている。エレベーターが動き出すと、アートパネルの照明がその動きに合わせて微妙に変化し、現在の高さを示すパネルの数字が刻々と変わる。視線は自然と上方に向かう。

「パネルの動きを眺めていたら、あつという間に着いてしまいました」と赤間さん。「とにかく速くてかごの大きさもちょうどよく、演出も適度で十分に楽しめました」。実は閉所恐怖症という赤間さんが楽しめたのだから、その快適さがかげええるというもの。

「通常のビルのエレベーターに比べて、かご自体の圧迫感が抑えられているように感じました。天井が高く思えるの

上昇する快楽

あつという間の 350メートル

わずか50秒で地上350mの天望デッキに！
4台のエレベーターには異なる演出がなされており、短い時間で東京スカイツリーならではの特別な体験ができる。
そのデザインや乗り心地をレポートする。

これは一般的な高層建築では、防火区画などの関係からやりにくい計画なので贅沢です。また天望デッキまでのエレベーターでは外の風景が隠されているので、出たときの驚きがあります」と今村さん。

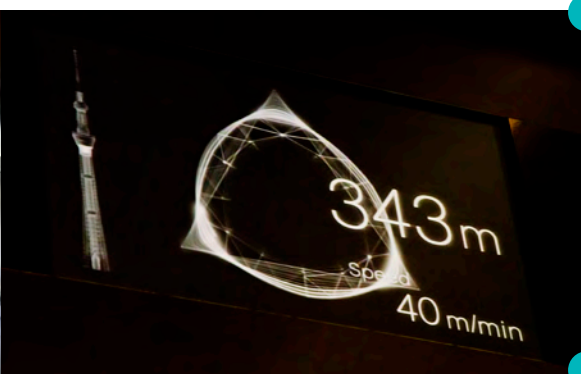
東京スカイツリーならではの扉を出た瞬間の開放感。ぜひ大事に楽しんでほしい。

東京の天空を旅する

東京スカイツリー。誌上体験記



▲乗車したのは「冬」のかご。よく見るとスカイツリーがある



▲エレベーター内の高さ表示



出発ロビー

エレベーターの安全・安心

スカイツリーの移動を支える 東芝エレベーターの技術

東芝エレベーターは、地上と天望デッキを結ぶ一般客用4台と、国内最長464.4mの昇降距離を誇る業務用2台のエレベーターを手がけている。安全性と乗り心地の向上のために採用された技術を紹介しよう。

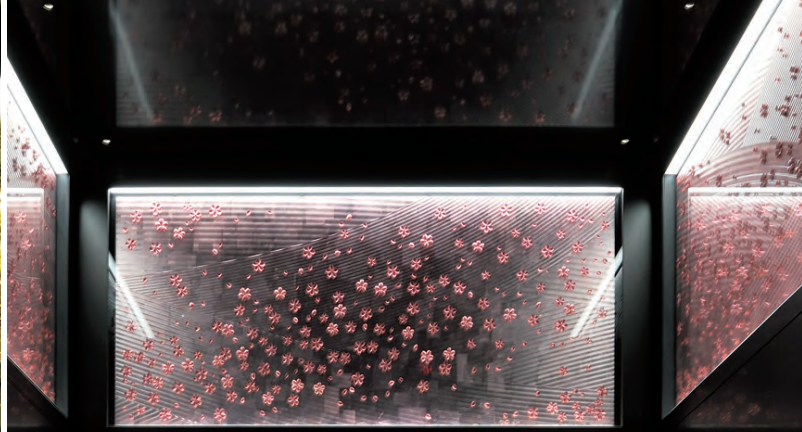
まずは安全対策。エレベーターは昇降距離や容量、速度が大きくなるほど巻上機の出力が大きくなる。そこで高出力な巻上機を新たに開発。また、高強度ロープを採用し、直径20mmのワイヤロープ10本を使用している。

次に乗り心地。エレベーターをなめらかに動かすため、レールの継ぎ目の段差を極限までなくす。加工時の管理を徹底し、設置時の仕上げにより、レール間の段差が0.1mm以下になるよう微調整しているという。

さらにかごを覆う流線型の「整風カプセル」が、昇降路内を移動する際の空気を抵抗や風切り音を抑制する。エレベーターには、さまざまな工夫が隠されている。これらを想像しながら、乗り心地を体感してみよう。

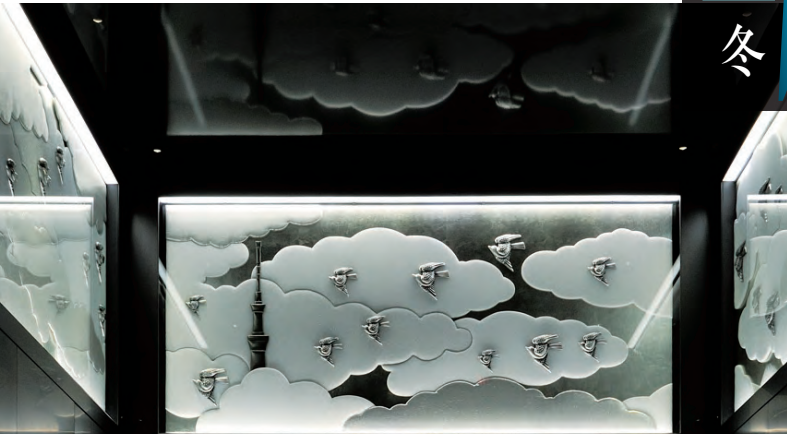


神輿飾りの職人が制作した鳳凰が輝く
「祭」

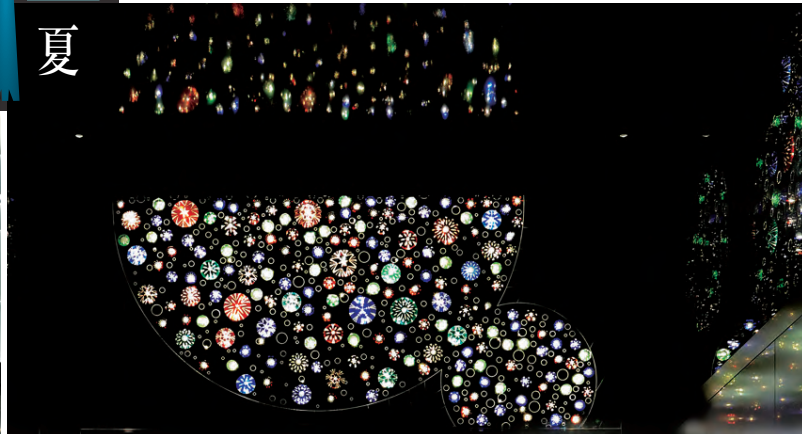


桜吹雪をイメージした銀箔の
「桜」

秋 春
冬 夏



押絵羽子板職人による雲や富士山を背景に鋳物の都鳥が舞う
「都鳥の空」



江戸切子の花火が彩る
「隅田川」

350メートルと450メートルの視界

東京のパノラマを 楽しむ

高さ350mの天望デッキと、450mの天望回廊。
いずれも国内ではかつてない高さの展望台だ。
その眺めはいかに。
そして東京スカイツリーのランドマークとしての可能性とは？

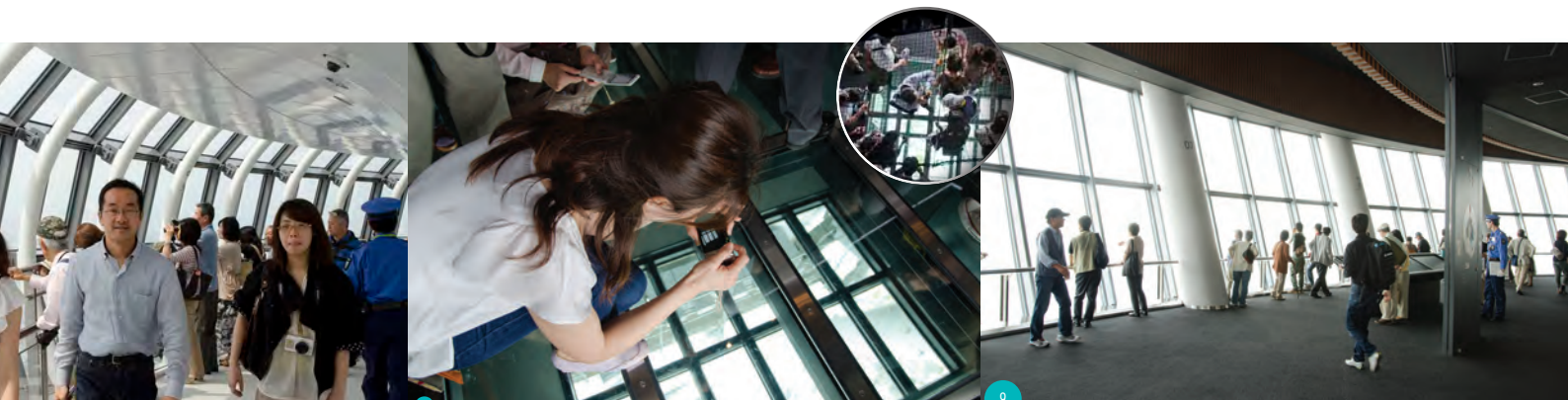
日本一の高さを体験する

天望デッキは高さ340、345、350mの3層構造。床面積約4100㎡、収容人数約2000人と、ゆったりした空間。カフェ、レストラン、撮影スポット、足元の床がガラス張りの「ガラス床」など、見どころの多い展望台だ。ガラス面が71度の傾斜を持っており、足元の風景が見やすいのが特徴だ。

「江戸文化に囲まれたエレベーターで江戸の街を見下ろすというワクワク感がかき立てられ、パッと開放感につつまれる。その一連の流れの効果で、より風景を楽しめますね」と赤間さん。

「都心の展望台からの風景とは違い、グリッド状の区画割りが見えるのが面白い」と今村さん。低層の建物が無数に並ぶ下町の風景が新鮮だ。

次は電波塔にある展望台として高さ世界一の天望回廊へ。「天望デッキに比べて、視点がかなり変わった」と今村さんも赤間さんも同意見。展望台周囲をスパイラル状に取り囲む天望回廊は、細い通路を約110m歩いてめぐるようになっている。最高到達点451.2mの「ソラカラポイント」にたどり着



ガラス床(天望デッキ)

東京スカイツリー天望デッキ

東京スカイツリー®、 その完成を見て

平塚 桂

東京スカイツリーの本を書くために工事中から何回か見てはいたのだが、竣工後、実際に昇るのは、今回の取材が初めてだった。そこで驚いたのは、タワーの足元空間の楽しさだった。

特にいいのは東京スカイツリータウン4階にある広場・スカイアリーナからの見上げ。これまで東京スカイツリーには、かなりヒョロっとした印象を持っていた。遠くから見ても、浅草くらいまで近づいても、かなりスラリと見える。これは幅わずか100m程度の細長い敷地に高さ634mのタワーを建てるという条件によるところが大きいらしい。東京スカイツリーは、幅の狭い敷地に対応する、一辺68mというコンパクトな三本脚となっている。大股開きで踏ん張る多くのタワーとは異なるフォルムだ。しかし間近にタワーを見ると、鉄骨が複雑に組み合わせる力強いものに印象ががらりと変化する。スレンダーな体躯にこんないい筋肉がついていたとは……的なギャップにクラクラするような感じだ。

東京スカイツリーは、足元から眺めるだけでもかなり満足できる建物かもしれない。では昇ってみての印象はどうか。展望台は確かに高い。しかし眺望というものは一定範囲の高さでは、それほど大きな変化はないようにも思う。むしろ地表が遠くなると小さな建物は見えにくくなるし、天候にも眺めが左右されやすくなる。

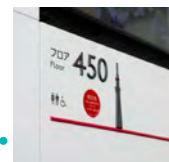
しかし展望台とは、そこからの眺めだけで勝負するものではないだろう。聖地巡礼に例えるならば、目的地のみならずそこに行くまでの過程が大事。昇った後にある風景はご本尊のようなものだから雲に隠れて見えなくても問題ないのかもしれない。むしろタワーに昇ったときの高揚感をかき立てるのは、展望台に至るエレベーターで過ごす時間ではないだろうか。東京スカイツリーのエレベーターは乗客を楽しませながら、あっという間に展望台まで連れていってくれた。もっと乗っていたいとすら思えた。

ふつうのビルのエレベーターは、どちらかというと脇役だ。なるべくコンパクトで高速に、たくさんの人々を運べるようにつくられている。エレベーターに乗る時間は短い方がよく、建物の面積をあまり割かずに設置できるものが望ましいとされる。高層ビルのエレベーターは特にひたすら厳しい要求をこなすばかりで演出の余裕はないケースがほとんどだろう。しかし東京スカイツリーのエレベーターは、スペックとエンターテインメント性をほどよくあわせ持つ、総合力を感じさせるエレベーターだった。



地上350mの天望デッキより北東方面、隅田川にかかる桜橋を望む

建築を学ぶ留学生などが東京を訪れた際には、あえて隅田川のクルーズに連れ出して東側の風景を見せるようにしているのですが、ここでも都心の展望台とは異なる、グリッド状の区画に低層の建物が並ぶ風景が分かります。また、2つの展望台では、視点がかなり変わりますね。
(丸村創平さん)



天望回廊とソラカラポイント
天望回廊をめぐる最後に、地上451.2mの最高到達点、ソラカラポイントにたどり着く。LEDの光やガラスを利用した演出がなされ、浮遊感が味わえる。

いたところで最後、今村さんに建築的評価を聞いてみよう。「ランドマークというものは、できてすぐの評価は難しいのです。パリのエッフェル塔も時間が経つにつれて評価がかなり変わりました。東京スカイツリーも時間が経って東京の街になじんでから評価できるようにするのがいいと思います」
東京スカイツリーは、世界的ランドマークを目指して、今日も多くの人を集める。





Before
After



1階のりばとかご室操作盤
操作盤はユニバーサルデザイン対応で文字が見やすくなった。また、現在位置は液晶表示に変わり、上の帯板からなくなった。



新
リニューアル
探検隊が行く!

step3
CHECK

HOTEL
ホテル編

step1
AGREE

step2
DO

step3
CHECK

納品とフォロー
南房総・鴨川市の海沿いに建つ鴨川館は、東日本大震災の影響によって客足が減る中、安全性のためにエレベーターのリニューアルを決断しました。そして、夏休みが始まる前の昨年7月20日に工事は無事に完了。新しいエレベーターはどうでしょうか？

夏休みに入り
お客さまが戻ってきた
暑さが増すごとに、鴨川館にも
宿泊客が戻ってきた。
「8月に入ると家族連れのお客さまも増えました。エレベーターがリニューアルされて安全性が高まったこともお客さまにとっては安心だと思います。かご室の中もきれいになって、昔のエレベーターのようにガクンと止まることもなくなりました。操作盤のボタンも大きくなって、高齢のお客さまでも押しやすくなりました」と、鴨川館の武田和香子取締役は語る。最新式のエレベーターには地震時・

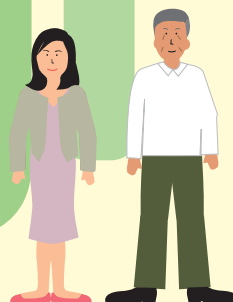


株式会社吉田屋
社長
武田 将次郎氏



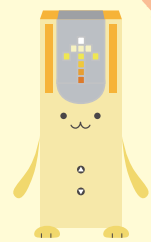
株式会社吉田屋
取締役
武田 和香子氏

鴨川館

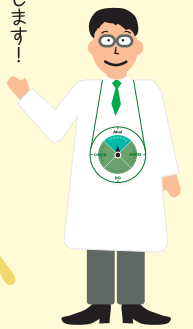


新リニューアル探検隊

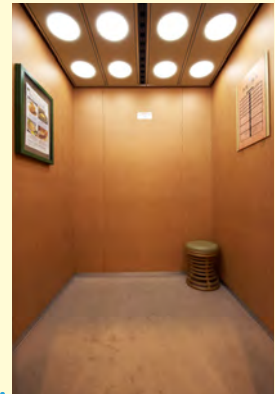
私が
ご紹介します!



助手
エレベっち
東芝エレベータの
キャラクター



隊員
関 栄二さん
明海大学
不動産学部講師



Before

After



照明が
大きくなった！



かご室とかご室天井

化粧シートはリニューアル前と同じ色味の木目調で揃えた。リニューアル前に置いていたイスもそのまま元の位置に。しかし、天井の照明はデザインが新しくなり、かご室がより明るい印象になっている。また、かご室に手すりを追加した。

7月4日着工、20日完了という
厳しいスケジュールで、しかも宿
泊施設のため基本的に夜10時まで
の作業という条件のもと、工事を
やり遂げた東関東支社建設部工事
技術グループの御園 顕史は「スケ
ジュールは厳しかったです、仕事
はやりやすかったです。鴨川館の
皆さまのご協力がありがたかった
です」と感謝の気持ちを語る。

宿泊やミーティング用の部屋を
鴨川館が提供してくれたことで、
協力会社とも緊密に打ち合わせが
でき、効率的に休憩・睡眠がとれて、
スムーズに仕事ができたこと御園は
いう。

納期は厳しいが
作業ははかどる環境

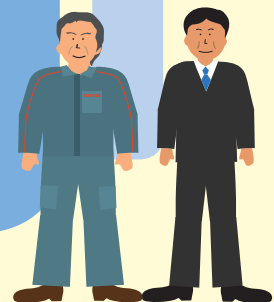


東芝エレベータ
東関東支社 営業部
リニューアル営業
グループ 主任
小髙 浩史



東芝エレベータ
東関東支社 建設部
工事技術グループ
御園 顕史

東芝エレベータ



停電時の管制運転機能がついてい
るから安全だ。

ホテル編



step1
AGREE

1

検討開始
▼
見積もり・仕様確定

step2

DO

2

工事準備
▼
工事

step3
CHECK

3

納品
▼
フォロー

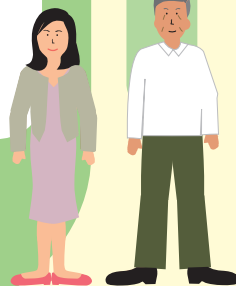
鴨川館

多光軸センサー機能で
ドアに挟まれなくなった

鴨川館で接客を担当している従業員
の西川説子さんは、お客さまも喜んで
いるという。

「お客さまもエレベーターがきれい
になった、とおっしゃいますし、階数
が表示されることも、ドアが閉まる
ときにアナウンスがあるのも便利
ですね。スタッフ用エレベーターも
待ち時間が短くなりました。それに、
ワゴンや身体がドアに挟まれること
がなくなりました。ありがとうございます」

今回のリニューアルではドアに多光軸
センサー機能を搭載したので、障害物
があると反応してドアが開いたまま
になる。スタッフは両手に荷物やお盆
などを持って移動することが多いので、
センサー機能は大いに役立っている。



接客を担当する西川説子さん

当館のスタッフの皆さんからも好評です



実は化粧シートは以前のものより傷つきにくいのです。



鴨川館（竣工1981年）

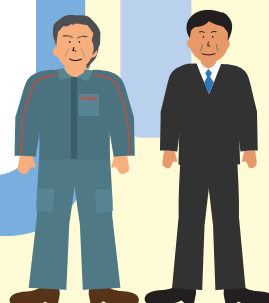
東芝エレベータ

安全性が格段に向上

今回、ロビー側のエレベーターの
リニューアルでは、かご室内は天井と
照明・操作盤の交換、シート・三方
枠の張り替え、手すりの設置を行った。
制御リニューアルなので、もちろん巻上
機と制御板も交換した。

新しいエレベーターでは地震の初期
微動に反応するP波感知器付地震管
制運転機能や停電時管制運転機能が
標準で搭載され、新安全基準によっ
てブレーキの二重化と扉が開いたまま
走行する事故を防ぐ戸開走行保護装
置もついている。

東関東支社営業部リニューアル営業
グループ主任の小島浩史は「武田（将
次郎）社長はお客さまと従業員の安全
第一で決断されたのだと思います」と
語る。その思いは実った。





ここがポイント!

ドアの多光軸センサーは ホテル・旅館では必須

エレベーターのリニューアルは、エレベーターが使われる目的や場所によって、搭載する機能、工事のやり方などが違ってくる。

明海大学不動産学部講師の関栄二氏は、こう語る。

「ドアの多光軸センサー機能は、ホテル・旅館のバックヤードでは大きなメリットがあります。従業員の皆さんは手がふさがった状態でエレベーターを使うので、センサー機能は従業員にとっても安全性を高めます」

関氏はホテル・旅館業におけるリニューアルでは、それにふさわしい機能の選び方があると指摘する。

また、工事の際に、必要に応じて養生シートを外し、元の状態に戻したことに對しても、「いちいち養生シートを撤去して張り直すのは大変な手間だろうが、宿泊業では、そうした配慮も必要でしょう」と語る。

ホテルや旅館は、1日も休むことがない客商売だけに、それに対応したエレベーターリニューアルの方法が必要のようだ。

エレベーターの
使用電力が大幅削減

リニューアルの大きなメリットの一つは節電効果である。
「夏場は15%の厳しい電力使用制限がありましたから、私たちも頑張つて15%カットしました。電気代でいうと前年から1割は減っており、そのうち3分の1がエレベーターのおかげでしょう。リニューアルによる節電効果はかなり大きかったと思います」と、武田将次郎社長。電力危機が続く中、最新の省エネ型エレベーターに取り替える効果は大きい。

省エネ効果は
大きいです



地震対策も
大きく改善
しました。



地震対策は
ばっちりだね!



乗り心地がよくなったと
評価された

工事技術グループの御園は、新しいエレベーターを引き渡したときに鴨川館側から「乗り心地がよくなった」と感謝されたという。

「かご室内は天井照明が変わつて明るくなったとは思いますが、壁のシートなど意匠面では以前とあまり大きな違いはなかったため、乗り心地を評価していただいたのはうれしいですね」

今後、東芝エレベーターでは旅館・商業施設向けに、安全性と節電効果が低予算で期待できる制御リニューアルのパッケージ商品の販売も予定している。



新

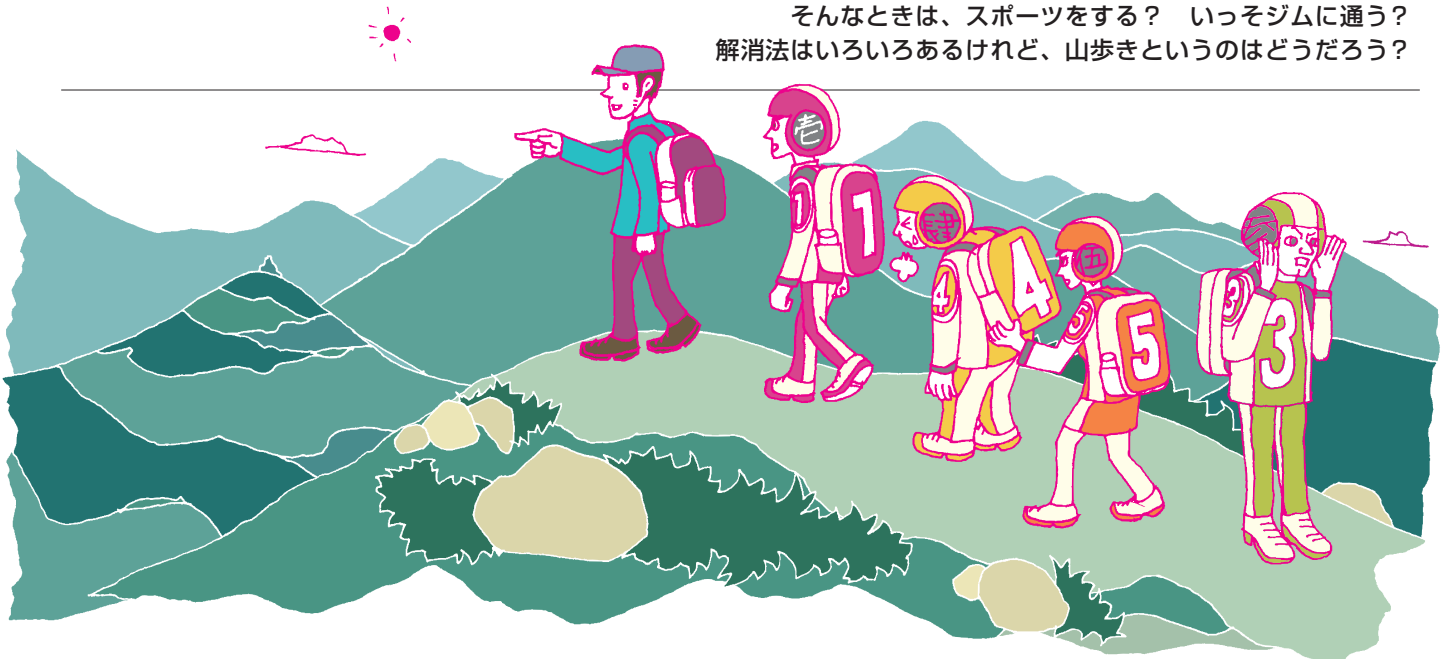
リニューアル
検隊が行く!

初心者のための山歩きガイド

運動不足やデスクワークで疲れた身体をリフレッシュしたいという人は多いはず。

そんなときは、スポーツをする？ いっそジムに通う？

解消法はいろいろあるけれど、山歩きというのはどうだろう？



日常生活では 味わえない感覚

最近、山歩きを楽しむ人が増えている。以前と比べると登山道にトイレも増え、山小屋もきれいにして環境が整備されたところが多くなったからだ。思い出してほしい。誰も小学校や中学校などの遠足で、一度くらいは山登りをした経験を持っているに違いない。木々の間を抜けながら森の香りを楽しみ、遠くに広がる稜線を眺め、自然の景色を存分に楽しみながら登り、やがてたどり着いた山頂で味わう達成感、これは日常生活では味わうことのできない特別な感覚である。明日も頑張ろうという活力も湧いてこようというものだ。

一方、山での遭難事故の話はよくニュースで耳にする。山歩きは楽しいし健康にもいい。だが、その反面危険も伴っている。これから山歩きをしたいという人が安全に山を楽しむためにはどうすればいいだろうか。公益社団法人日本山岳ガイド協会の武川俊二理事に聞いてみた。

「一番事故が起こりやすい例は、仲間うちで話をしていて、経験のある人が、山にでも行くのかと聞いて、その人に引

つ張られて行ってしまいうケースです。経験者といってもどの程度の経験者なのか、リーダーとして引率する力があるのか。例えば雨が降ってきたとき、自分は行けるからとどんどん引つ張って行って、にっちもさっちも行かなくなるという状況に陥るのでは困るのです。初心者が山に行く場合は、経験豊富でしっかりとしたリーダーシップを取れる人に連れていってもらおうが大前提です」

もし、そういう人が身近にいないという場合は、旅行会社が運営しているツアー登山を利用するとよい。日帰りで8000〜1万2000円程度、1泊2日ならその倍くらいの値段で参加できる。ツアーは初心者向け、上級者向けなど参加者のレベルに合わせて用意されているので、申し込みの際に相談すること。人数は20人程度が標準で、引率者がつく。知らない人と友達になれるのも魅力だ。

事前に 準備しておくこと

さて、目的地が決まったら、仲間うちのリーダー、もしくはツアーであれば企画した会社、その山がどんな山なの

かをよく聞いておこう。樹木の多い山なのか、岩場がある山なのか、急な登りはあるのか、緊急時の下山ルートは？——など、知っておくといざ登ったときの参考になる。

携行するのに必要なものには、雨具、水、ヘッドランプ（懐中電灯）、防寒具、帽子、食料などがある。雨具はビニール製のは穴が空きやすく内側から蒸れるので、透湿防水性繊維でできた雨具がよい。水は体重50kgの人が4時間歩くと約1リットル必要になるといわれる。よく年配の人で水を飲むとぼてるから飲まないという人がいるが、これは間違い。飲まないで登り続けると、血液がどろどろになり、脳梗塞や脳溢血を起こす原因になるので要注意だ。

「500ccの水に小さじ4分



山歩きで注意したい 生き物

山には人間に害を及ぼす
危険な生き物もいるので気をつけよう



まず一番警戒が必要なのは蜂、特に営巣期の9~10月が危険だ。女性は、匂いの強い化粧品の使用は避けた方がよい。男性の場合はヘアトニックをつけないこと。こうした匂いの強いものは蜂が敏感に反応し、攻撃してくるからだ。また、黒い服も避けたい。アシナガバチ、スズメバチなどは本能的に「黒い色=熊=天敵」として攻撃してくる。蜂よけには、白いシャツ、白い帽子をかぶるとよい。ポイズン・リムーバーと呼ばれる毒液・毒針を吸引する道具があるので、刺されたときのために携帯していきとよい。刺されたらすぐに処置を行い、下山して病院へ行く。

雪の降らない地域で、じめじめした場所にはヒルも多い。なめくじのような生き物で動物の生き血を吸う。噛まれても痛みも感じず毒性もないが、ヒルの唾液には血液の凝固を妨げる成分が含まれているため、なかなか血が止まらず見た目に気持ちが悪い。できるだけ皮膚を露出しないことが大切だが、ヒルはどんなところからも入り込んでくる。ヒルよけとしては、市販のヒル忌避剤を持っていきとよい。また、事前に飽和食塩水（水に食塩が完全に溶けたもの）を用意し、スプレー容器に入れていくのもよい。これらをあらかじめ靴などにかけておくとヒルよけになる。

山といえば、熊に襲われるのではと心配になるかもしれないが、実はそれほど恐れる必要はない。熊は音や匂いに敏感なので、人間がいると気がつけば、熊のほうで逃げるからだ。熊が気づくように常に音を出して歩くとよい。

の1程度の塩とレモンを少し絞ったものを、ペットボトルに入れて持っていきと、疲労回復にもなるのでお勧めです」
「明るうちに下山するつもりでも、山では何が起こるか分からない。使わなくてもヘッドランプを持っていくのは基本。街灯のある都会と違い、暗くなった山道を歩くのはとても危険だ。また、山の気候は不安定なので、どんなに暑い夏でも防寒具としてジャケツトを持っていく。シャツは長袖を着用すること。また特に夏は、熱中症・日射病対策として帽子も忘れてはならない。

「食料は、行動食と呼ばれる歩きながら食べられるサンドイッチやおにぎりなどを持っていくのがいいでしょう。体力を消耗する山では、1~2時間ごとに栄養補給が必要になりますので、行動食のほうを手軽に食べられます」
その他、靴にも気をつけた。登山用のハイキングシューズなどを履くこと。街中で履いている靴は、登山には向かないので足を痛めてしまうし、思わぬ事故にもつながりかねない。

山に登ったら 気をつけたいこと

山歩きの間、もし気分が悪いと感じたら、無理をせず必ずリーダーに申し出ることに体調が悪いのがまんをして

いると、あとで取り返しづつかないことにもなりかねない。一番心配なのはトイレだが、引率者のいるツアーであれば、どこにトイレがあるか教えてくれるので、自分で調整する。もし引率者が知人であれば、事前に経験者のリーダーに確認しておくといよい。

「初心者であれば、標高差（登山口~頂上）が500~600m程度の山がいいでしょう。通常300mの標高差の山に登るのに1時間くらい要します。そうすると休憩時間も入られて、頂上まで3時間程度、午前中に登り、上でお昼、午後後に下山。これくらいの時間配分になります」
一度登ってみれば、自分が



カラフルなジャケットや、トレッキングスカート、タイツなど、若い女性の間でトレッキングがブームになったことにより、山歩きのファッションも華やかなものになった。

提供：フォクスファイヤー <http://www.foxfire.jp>
問い合わせ先：株式会社ティムコ TEL：03-5600-0121

どの程度のレベルなのか分かるはずだ。比較的楽に感じたのであれば、次の機会にはもう少し高い山に登ってみる。もしこれでは少しきついなど感じたら、次はもう少し低い山に登ればよい。いずれにしても、無理をしないことが大

切だ。自分に合った山から、少しずつ始めていけばいい。準備万端整ったら、さあ、山へと出かけよう。
一度その爽快感を味わったなら、また次の山に挑戦してみたくなるに違いない。

現実よりひと足さきに 月世界を闊歩した月面探検車

先日、日本の広範囲で観測できた金環日食はご覧になったろうか。宇宙の神秘はいつも私たちの心をわくわくさせてくれる。そんな宇宙の星々のなかでも、一番身近な存在といえば、やはり月ではなからうか。日本最古の物語とされる『竹取物語』をはじめとして、私たちの想像力はいつも月によってかき立てられてきた。この月面探検車もそうした想像力の産物である。おもちゃがつけられたのは60年代、まだ人類は月の土を踏んでもいなかった。アポロ11号で人類が初めて月面に降り立ったのは、1969年。その翌年、ソ連(現・ロシア)が無人生ながら月面車ルノホート1号を、そして71年に、ようやく米国が有人の

月面車ルナビークルで月の上を
走ることに成功した。

「ロケット形のリモコンのスイッチを押すと、上部にあるアンテナが回り出し、探検車の下から伸びた4つの足が前後に動きながら歩行を開始します。同時に後ろにあるライトが点滅しながらくるくると回り、まるでエンジンが動き出したかのようです。次にリモコンのもうひとつのスイッチを押すと探検車は歩行を止め、脇にあるハッチが開いて、あたかも月世界を撮影するかのようなしぐさのカメラマンがスーッと出てきます」(北原氏談)

人類が宇宙を目指すといえば、最近話題の漫画『宇宙兄弟』(小山宙哉・作)がある。兄のム

ツタ役を小栗旬、弟のヒビト役を岡田将生が演じて映画化もされたが、ここにもヒビトが月面車に乗って、月世界を探検するシーンが登場する。

『宇宙兄弟』は幼いころに兄弟が宇宙飛行士になることを誓い合い、やがてそれを実現させるといふ話だが、もしかすると、幼いころにこの月面探検車のおもちゃで遊び、宇宙に夢を馳せた子どもが、やがて現実に宇宙開発の仕事に携わるようになった可能性もなかったとはいえないだろう。月面探検車はそんなことも想像させてくれる楽しいおもちゃである。

(資料提供：北原照久)



BACK TO 1965

作家・三島由紀夫の最後の連作小説『豊穡の海』は、この年から雑誌『新潮』で連載が開始された。タイトルの『豊穡の海』は、月の巨大クレーターのひとつ「豊かの海」(ラテン語：Mare Fecunditatis)から取られている。